

## 県内の先陣を切って児島網の目行進

7月15日、児島原水協は岡山県内の先陣を切って児島網の目平和行進を行いました。東京-広島コースの平和行進は7月16日に兵庫県から引き継ぎますが、児島網の目行進は毎年「海の日」に実施することを決めこれまでも行ってきました。

午前10時に倉敷市児島支所前で行われた出発集会では地域を代表して和泉啓さんが「平和行進は自由で自主的な運動です。平和を愛する人なら自由に参加できます。元気に明るく歩きましょう」と参加者を励ましました。

県内通し行進を行う伊原潔さんは「核兵器をめぐる世界の動きは悲しむべき状況になっています。しかし、核兵器禁止条約は93か国が署名し、70か国が批准をするまでになりました。



### “核兵器なくそう” 50人が元気にアピール

日本政府に対し禁止条約に参加を求める自治体決議も683になり大きく広がっています。このことに確信をもって運動を進めましょう」と参加者に訴えました。出発集会あと参加者50人は「核兵器をなくそう」「日本政府は禁止条約に参加を」などと唱和しながら1時間半児島の町中を行進しました。

写真・上 出発前に児島支所玄関で記念写真、下・左市内行進の模様、下・右 伊原さんと泉さん



### 国際青年リレー行進にガリレオさん(フィリピン)32歳が参加

\*ガリレオ・デ・グスマン・カスティージョさん。タイ・バンコクのチュロンコン大学にあるフォーカス・オン・ザ・グローバル・サウス(公正な社会と経済、政治変革のためのキャンペーン活動、政治的教育、草の根の能力開発に取り組んでいる活動団体)で活動しています。2019年に愛知、岐阜を行進しました。今年はフォーカスを代表して26日笠岡から広島県内を行進し、初めて世界大会に参加します。

### 佐藤さん断念

岡山県内通し行進を予定されていた佐藤庄平さん(水島原水協)は体調不良のため通し行進を辞退されました。

## 行進リレー旗 兵庫県から引き継ぎました

2024年国民平和大行進 東京一広島コースのリレー旗は、7月16日正午兵庫県から岡山県に引き継がれました。JR寒河駅前での引継ぎ集会には兵庫・岡山のそれぞれの行進参加者100名余が参加。岡山県を代表して村田県原水協代表理事は「岡山県内の79%の自治体議会が国に禁止条約参加を求める



全国通し行進者大村美恵さん



兵庫県原水協津川さん



岡山県原水協村田代表理事

決議を上げている。行進では禁止条約参加を求め、声をあげていきたい」と挨拶されました。兵庫県原水協津川代表理事は「兵庫は2つコースの行進を無事鳥取・岡山に引き継いだ。首長と一緒に歩くなど変化も出ている」と挨拶。全国通し行進者の大村美恵さんは



横山支所長からペナントを受け取る

長崎で被爆した夫の父の無念さと、被爆2世の妻としての苦しみを訴え、核兵器の廃絶をよびかけられました。

県内通し行進者の伊原潔さん(県年金者組合)は「今年は県内通しが2人に、安福翔輝さんと共に元気であるきたい。能登地震対応にみられる岸田政権の民意に反する政治を国民の力で変えていこう。禁止条約締結を求める署名は156万筆に到達。故中尾元重さんの意志を引き継いで県内通し行進を頑張る」と決意を述べられました。

行進の途中の備前市日生支所では麦茶の接待いただき、出発に際しては横



山支所長からペナントと、募金箱を受け取りました。

途中で強い雨が降りましたが行進参加者50人はこの日の終点、JR赤穂線伊里駅まで元気に歩きました。

この日は岡山医療生協労組がスイカ、冷たい飲み物を、備前9条の会の皆さんもスイカ、飲み物で行進団を激励して下さいました。

写真・左この日の終点伊里駅前で

# 原爆慰霊碑に核兵器廃絶を誓う



5月6日、東京夢の島を出発した平和行進75日目の7月19日は岡山県に入って4日目です。この日は岡山市東山にある岡山市原爆慰霊碑前の集会と、慰霊碑に線香を手向け、核兵器廃絶を誓って岡山市内を行進しました。出発集会には約100人が参加。岡山市・県被爆者会からも7人が参加されました。岡山県・市被爆者会廣信会長は「平均年齢 85.58 歳の被爆者は再び被爆者をつくるなど運動を進めてきた。絶対悪の核兵器の使用を許してはダメだ。日本政府は外交の力で核兵器廃絶を進めてほしい」と訴えられました。県被爆2・3世の会の志賀雅子さんは「放射能被害は79年経ってもなくなる。政府に核兵器禁止条約に参加を求める運動とともに、『黒い雨』被害者の救済の取り組みをしているので協力を」と訴えられました。集会の後参加者は一人ずつ慰霊碑に線香を手向け核廃絶を誓いました。

行進は岡山県庁を經由、平和七夕飾りの下を核兵器なくそうとアピールしながら JR 岡山駅前まで行進しました。



## 四国一広島横断幕の引継ぎも

四国を1周したりレー旗は岡山県庁で全国通し行進者の大村美恵さんに引き渡されました。



## “核兵器なくそう”の声を響かせ岡山市内を行進



平和行進岡山県内コース第5日目は岡山市下石井公園を出発し、南区大福までのコースを行進しました。出発集会では岡山市長の「79年前の6月29日、岡山市は大空襲に遭い、2000人を超える犠牲者が出た。昭和60年に平和都市宣言を行い、6月29日を平和の日と定めた」というメッセージの紹介と、岡山市原爆被爆者会廣信会長が「県内の被爆者手帳所持者は884人となった。被爆者は核兵器のない世界の実現を心から願っている」と行進団を激励されました。コープ福富のパート職員さんが折った7000羽のおり鶴が行進団に託されました。この日の参加者は90人。岡山市大福のコープ大福店まで核兵器廃絶をアピールして行進しました。



写真 上の集合写真はコープ大福到着集会後の集合写真、下左、コープ福富の職員さんの7000羽おり鶴、右、西市公園休憩で岡山医療生協からスイカの接待  
写真左・玉野網の目行進終了後の集合写真、下左、玉野市議会事務局からペナントと募金を受け取る大村さん、右、市倉勇樹副市長からペナントと募金を受け取る伊原さん



## 高校生の飛び入り参加の玉野・網の目行進



7月19日玉野網の目行進が行われ、全国通し行進者の大村美恵さんと県内通し行進者の伊原潔さんが参加しました。午後4時からの市長・議長要請行動では市長と議会からペナントと募金をいただきました。要請行動の後41人の参加者は市内行進を行い市民に平和をアピールしました。行進の途中高校生3人が飛び入り参加して「核兵器なくせ」と一緒に声を上げてくれました。

## しらかべの街倉敷に“核兵器なくせ”の声響く



平和行進東京一広島コース、岡山6日目の7月21日は早島町を出発、倉敷美観地区を經由し、倉敷市役所まで歩きました。早島町では佐藤町長、林副議長から激励と募金・ペナントをいただき、お二人は短い距離でしたが先頭の横断幕を持って行進されました。倉敷商店街、美観地区では外国人を含め多くの観光客に「東京から広島まで核兵器なくせと訴え歩いていきます。核兵器をなくしましょう」と呼びかけると驚いた表情で行進団に手を振ったりして応えてくれます。到着した倉敷市役所では伊東市長のメッセージ(代読)、中島議長からペナントをいただきました。この日の行進参加者は50人でした。(写真・大原美術館前で集合写真7/21)

### 早島町長・副議長が行進の先頭に



佐藤町長(中央)その右 林副議長を先頭に早島町役場を出発する行進団です。7/21



**笠岡市職労、登山者9条の会奮闘**  
 笠岡市職労は連日複数参加者で十一日間組合幟旗をリレーしています。(上)登山者九条の会はライングループで呼びかけ、連日参加、二二日は二〇人が参加しました。(下)早島町役場前で



国民平和行進東京一  
 広島コース、岡山県内7  
 日目の7月22日は倉敷  
 市水島支所から連島經由  
 で高梁川を渡り霞橋西詰  
 までの行進でした。梅雨  
 明け宣言が出され、灼熱  
 の太陽もとおよそ50人  
 の行進団は「核兵器をな  
 くそう」「日本政府は核兵  
 器禁止条に参加を」とピ  
 ースコールしながら元気  
 に歩きました。途中の休  
 憩場所では新婦人水島支  
 部の皆さんの接待を受  
 け、行進終了後水島郵便  
 局前でスタンディング行  
 動を行い64人が参加し  
 ました。



## 「ルー旗 高梁川を渡り西へ



## “核兵器廃絶” “政府は批准せよ” 市民にアピール 津山・網の目行進



7月20日津山市内吉井川河川敷公園で平和集  
 会を行いました。集会后およそ50人が「核兵器  
 をなくそう」「日本政府は核兵器禁止条約を批准せ  
 よ」とピースコールしながら市内を行進し市民にア  
 ピールしました。終了後代表は神楽尾山にある原爆  
 被災者の碑に行き清掃と参拝し核兵器廃絶を誓い  
 ました。(津山 末永弘之氏のFBより、写真も)

**ペナントは7月末までに**

岡山県原水協書記局にお送りください。  
 8月6日の世界大会会場に掲示します。



左・津山市内行進 右・原爆被災者の碑参拝

## 猛暑の中の1歩が世界平和を創る



国民平和行進東京～広島コース75日目の7月23日は岡山県総社市役所から高梁川をわたり倉敷市真備町まで歩きました。総社市の出発集会は猛暑を警戒し、総社市のご好意で急遽市民会館ロビーで行われました。

片岡聡一市長は、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザでの蛮行を厳しく非難し、戦争の一日も早い終息を訴

### 市長 議長が行進の先頭に



えられ、「猛暑の中の一步が世界平和を創る」と行進団を激励されました。村木理英市議会議長ともどもペナントと募金をいただき総社市から職員からの署名もいただきました。集会終了後参加者は市長、議長と記念撮影を行いました。

行進は総社市清音出張所で所長からペナントをいただきました。

倉敷市真備支所には全国・県通し行進者と平和行進県事務局で訪問、小野支所長と懇談、西日本豪災害から6年が経過、復興の状況なども話題になり核兵器廃絶に向けての和やかな懇談となりました。

写真 最上片岡市長、村木議長を先頭に平和行進、上・出発集会終了後市長、議長とともに記念撮影、下・左より真備支所で小野支所長と、中左清音出張所で。中右、片岡市長のメッセージ、全国通しの大村さんが受け取りました。下右端、被爆者募金総社市が別に1箱作り総額 15,321 円（硬貨 772 枚）



ペナントは7月末までに

岡山県原水協書記局にお送りください。  
8月6日の世界大会会場に掲示します。

## 船穂は最初の県内行進者・柚木進子さんの地元



国民平和行進東京―広島コース、岡山県内9日目の7月24日は倉敷市船穂支所から玉島支所までの行進。30人が参加する中、笠岡市職労は今日も4人の青年が参加、行進を盛り上げました。

船穂支所長の西山さんが激励の挨拶、冷たいお茶と珈琲の接待を受けました。

総指揮を兼ねた地元原水協の田辺市議が歓迎とともに、「船穂は柚木進子（1958年、当時44歳）さんが最初に県内通し行進をされた。岡山の船穂の歴史行進の歴史を知って欲しい」と話しました。行進団は柚木さん宅に訪問。谷口事務局次長が67年前の第1回県内通し行進の様子を詳しく説明しました。

## 畑本清子さんと地元原水協から千羽鶴



玉島支所前行進団と地元の人たち 7/24



進藤医師は6月に玉島協同病院の敷地内に建立された9条の碑を紹介しました。

玉島支所では森本支所長さんが激励の挨拶。例年、千羽鶴を入所されている介護施設で折り続けた畑本さんと玉島協同病院をはじめとした医療生協組合員さんがつくられた千羽鶴・約5千羽が行進団に手渡されました。地元を代表して進藤医師が挨拶をしました。

## 浅口市が昨年12月に批准を求める意見書提出



浅口市金光支所では加上支所長が激励の挨拶。桑野浅口市議が核兵器禁止条約の批准を国に求めて意見書を上げたと報告。



事務局と通し行進者は玉島協同病院駐車場の一角に今年6月に建立された「9条の碑」を訪問。

創立70周年記念・九条の碑建立

## “皆さんの活動が平和を支えています”の激励



県内行進 10 日目の7月25日は浅口市役所から里庄町までのコースでした。里庄町では赤木副町長、小野議長らたくさんの方々が職員が行進団を出迎えていただきました。副町長、議長からそれぞれ激励を受けパナント、募金をいただきました。



### 高梁

7月24日、34名が参加して市内平和行進を行いました。



### 浅口市

7月25日浅口市の出発集会には石田財政部長が市長メッセージを代読、藤井議会副議長とともにメッセージボードをもって記念撮影しました。

### 新見

7月22日、旧阿哲4町(哲多・哲西・神郷・大佐支局)訪問「皆さんの活動が平和を支えている。がんばってください」と激励を受けました。

### 井原

大舌市長から募金、パナントを受け取る小学5年生の2人



### 矢掛

7月25日15人が参加して町内行進。3000羽の折鶴が寄せられました。





# 被爆地ヒロシマに引き継ぎました



## 笠岡 市長、議長が行進の先頭に



平和行進岡山県内最終日の7月26日、笠岡市役所から広島県福山市大門までが岡山県の行進です。笠岡市役所では栗尾市長が「戦火の中の子どもたちに胸が痛みます。核兵器の小型化などの動きも看過できません。」と述べられ、大月議長も「当たり前の中で暮らしていることが大事」と平和の重要性を強調されました。

市長、議長からペナントと募金をいただき2人は行進の先頭をあるかれました。

行進の最終地点、笠岡市城見地区では毎年城見地区更生保護女性部の皆さんのそうめんの接待があります。今年も13人の会員が5Kgのそうめん130杯を用意して行進団を迎えてくださいました。

12時30分から広島県への引継ぎ集会が福山市大津野石碑公園で行われました。岡山県を代表して県母親連絡会の花田千春さんが岡山県の行進者にねぎらいの言葉をかけ、「核兵器禁止条約に背を向ける一方で、大軍拡に突き進む岸田政権を許しません。みんなの力で核のない世界を目指し頑張りましょう」と挨拶されました。

写真・上岡山・広島のみんで記念撮影 中笠岡市長、議長が行進に 下城見更生保護女性部の皆さん

